

5 商工労働観光部門

(1) 中小企業対策

ア 資金調達の円滑化

① 事業の目的

中小企業向け融資のための資金を取扱金融機関に預託すること等により，中小企業の経営の安定化や事業の活性化に必要な資金調達の支援を行う。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円 81,182,495	千円 △11,341,122	千円 —	千円 —	千円 69,841,373	千円 69,706,054

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額	
中小企業融資 資金貸付金	県 金融機関	(千円)	千円 69,010,369 (その他 69,010,369)	千円 69,010,369 (その他 69,010,369)	
		融資名			融資残高 (預託額)
		パワーアップ融資			35,022,436 (7,167,374)
		経営合理化融資			3,980,181 (1,160,744)
		設備投資支援融資			1,755,253 (361,113)
		新事業促進融資			2,928,201 (1,609,730)
		東日本大震災復興緊急融資 (震災対応)			90,184,283 (40,330,219)
		関東・東北豪雨災害緊急対策融資 (豪雨対応)			8,205,507 (2,800,554)
		借換融資			13,930,728 (2,419,398)
		その他の融資(長期資金)			5,067,526 (1,954,055)
		短期運転資金融資			24,893,756 (11,207,182)
合計	185,967,871 (69,010,369)				
中小企業信用 保証料助成	県	県制度融資を利用する中小企業の負担軽減を図るため信用保証料の全部又は一部補助を実施 震災対応分 8,021件 390,241千円 豪雨対応分 896件 92,645千円 通常分 5,373件 54,465千円	537,352 (その他 135,156) (一財 402,196)	537,351 (その他 135,157) (一財 402,194)	
東日本大震災 復興緊急融資 利子補給事業 (震災対応)	県	東日本大震災復興緊急融資を利用する中小企業の負担の軽減を図るため利子補給を実施 3,312件	244,165 (その他 244,165)	115,817 (その他 115,817)	

緊急対策融資 利子補給事業 (豪雨対応)	県	関東・東北豪雨災害緊急対策融資を利用する中 小企業の負担の軽減を図るため利子補給を実施 14市町村 783件	49,487 (一財 49,487)	42,517 (一財 42,517)
計			69,841,373	69,706,054

③ 事業の成果及び今後の課題

中小企業融資資金貸付金については、平成28年度中に9,274件、617億円の新規融資が実施され、同年度末の融資残高が1,860億円となるなど、中小企業の資金調達を支援することができた。

また、東日本大震災復興緊急融資や関東・東北豪雨災害緊急対策融資などについて、保証料補助や利子補給を併せて実施することにより、融資利用者の負担の軽減が図られた。

今後の課題としては、引き続き、長期・低利の中小企業資金融資制度を運用するとともに、制度の広報に力を入れるほか、金融機関等からの意見を聴取するなどにより、県内中小企業のニーズの把握に努め、厳しい経営環境にある中小企業の資金繰りを支援する必要がある。

イ 新たな産業の育成・振興

① 事業の目的

経営者の高齢化や人材不足の深刻化といった課題が進行する中、本県産業の活性化を図るため、起業家の取組や中小企業の新事業展開及び海外展開、クリエイターの育成を支援すること等により、創業や新事業の創出を促進する。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円	千円	千円	千円	千円	千円
91,002	36,297	92,703	—	220,002	191,161

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
			千円	千円
新規 未来をつくる 起業家育成事業	県	起業に理解のある人材や起業家精神を有する人材を育成するため、中学・高校生等を対象にした起業家教育を実施 (1) 起業家講演会 18校 (中学校11校・高校7校) (2) 起業家教育モデル校 4校	2,312 (一財 2,312)	2,058 (一財 2,058)
ベンチャー プラザ運営 事業	(公財)茨城県 中小企業 振興公社	総合相談窓口 (ベンチャープラザ) に創業や経営の専門家を配置し、創業等の相談に対応 (1) 相談件数 930件 (2) 相談内容 創業, 経営全般, マーケティング, 資金調達等	8,968 (一財 8,968)	8,833 (一財 8,833)
いばらき創業 塾開催事業	(公財)茨城県 中小企業 振興公社	創業活動を円滑に進めるための研修会を開催 (1) 開催回数 4回 (2) 受講者数 延べ173人	1,890 (一財 1,890)	1,815 (一財 1,815)
いばらき中小 企業海外展開 プロモート事業	県	中小企業の海外販路開拓のため、展示会などにおける商談支援に加え、専門家による海外バイヤー等へのフォローアップを充実させ、取引マッチングの促進による販売先確保を支援	34,940 (一財 34,940)	34,890 (一財 34,890)

		(1) 委託先 (公財)茨城県中小企業振興公社 (2) 支援対象企業 56社 (3) 商談成約数 32件		
新規 北関東三県海外 展開プロモーション事業	県	北関東三県の連携による、ベトナムのアンテナショップにおける県産品販売によるテストマーケティングの実施及び、出品企業の販路開拓の支援 (1) 販売実績 三県計 2,749,060円 (2) 支援対象商品 三県計91品 (3) 引き合い件数 37件 <国補 (10/10)>	36,834 (国庫 36,834)	33,692 (国庫 33,692)
新規 県産品海外展開 ステップアップ 事業	県	ベトナムのアンテナショップと連携したPRイベント及びベトナム向け販売戦略策定等のための調査を実施 (1) 委託先 BMF, (株)フォーバル (2) 茨城デーの開催 来場者 約3,500人 <国補 (10/10)>	39,571 (国庫 39,571)	39,405 (国庫 39,405)
いばらき 産業大県創造 基金事業	(公財)茨城県 中小企業 振興公社	中小企業等が行う新商品の開発等を支援 (1) 基金造成規模 総額75億円 (2) 運用益 約1.0億円/年 (年利約1.3%) (3) 採択実績 83件 134,293千円	—	—
新規 新たな資金調達 支援事業	県	クラウドファンディングの普及を図るため、セミナーを開催するとともに、有望なビジネスプランを選定し、クラウドファンディング組成に向けた取組を支援 (1) セミナー参加者 91人 (2) ファンド組成数 5件	4,996 (一財 4,996)	4,995 (一財 4,995)
プロフェッショナル人材 戦略拠点運営 事業	県	プロフェッショナル人材戦略拠点を設置し、中小企業に必要なプロフェッショナル人材の採用を促進 (1) 開設場所 (公財)茨城県中小企業振興公社 (2) 相談件数 388件 (3) 成約件数 22件 <国補 (10/10)>	55,869 (国庫 55,869)	31,696 (国庫 31,696)
コンテンツ 産業創造 プロジェクト 事業	県	クリエイターの育成やビジネス展開を支援 (1) いばらきクリエイターズハウスの運営 入居組数 14組 (2) 入居者向け勉強会の開催 3回 (3) クリエイターの作品発表支援 ア 展示・商談会への出展支援 7件 イ 「いばらきコンテンツコレクション2」 の開催 場所 つくば市 来場者 800人 (4) 中小企業とクリエイターが連携し、コンテンツを活用して、経営課題を解決する取組への補助 9件	34,622 (一財 34,622)	33,777 (一財 33,777)
計			220,002	191,161

③ 事業の成果及び今後の課題

ベンチャープラザでは、創業や資金調達、経営課題など延べ930件の相談に対応したほか、創業に必要な知識の習得を図る「いばらき創業塾」を計4回開催し、延べ173人が受講した。

また、ベトナムをはじめとしたアジア各国への輸出促進に向けて、PRや商談支援に取り組んだ結果、32件の商談成約につながった。

コンテンツ産業創造プロジェクト事業では、入居者のスキルアップを図るとともに、作品発表の機会提供、中小企業とクリエイターが連携したコンテンツ活用に対する補助等、ビジネス展開を支援した。

今後の課題としては、(公財)茨城県中小企業振興公社をはじめとする産業支援機関等と連携しながら、創業や新事業の創出に向け、企業の成長段階に応じた、きめ細かな支援を実施していく必要がある。

ウ 技術力の向上及び情報化の促進

① 事業の目的

中小企業のものづくり技術の高度化を図るため、技術力の向上や新製品・新技術の開発、IoTを活用した生産性の向上などを支援するとともに、ITや次世代技術を活用できる人材の育成などにより中小企業の競争力強化を図る。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円	千円	千円	千円	千円	千円
261,846	△10,776	145,552	—	396,622	389,791

(ア) 技術力向上の促進

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
			千円	千円
中小企業テクノエキスパート派遣事業	(公財)茨城県中小企業振興公社	大企業OB等の技術の専門家による技術指導 (1) 派遣件数 102件 (2) 派遣日数 延べ595日	21,971 (一財 21,971)	21,920 (一財 21,920)
新規 中小企業IoT等自動化技術導入促進事業	県	IoTを活用した生産性向上や、新製品・新サービスの創出による中小企業の競争力強化を支援 (1) IoT専門家の企業訪問件数 175件 (2) 中小企業がIoTに取り組む件数 44件 (3) IoT関連の人材育成人数 40人 (4) 工業技術センターにおける模擬スマート工場の整備 <国補(10/10)>	145,552 (国庫 145,552)	142,600 (国庫 142,600)
新規 次世代技術活用人材育成事業	県	次世代技術を活用できる研究開発人材の育成 (1) 基礎課程の受講者数 27人 (2) 応用課程の受講者数 10人	8,343 (その他 27) (一財 8,316)	7,806 (その他 10) (一財 7,796)
オンリーワン技術開発支援事業	県	工業技術センターにおける中小企業の技術開発等支援 (1) 共同研究 11件 (2) 受託研究 74件 (3) 研究会 26回開催(7研究会)	24,567 (その他 23,827) (一財 740)	22,259 (その他 22,259) (一財 —)

研究開発費	県	工業技術センターにおける中小企業のニーズに対応した試験研究及び機器整備の実施 (1) 研究テーマ 自動車部品の低コスト化等を目的とした軽金属鍛造技術の研究など 9テーマ (2) 機器整備 小型鋳造機, 熱間鍛造評価システム, 顕微赤外分光光度計等 <国補 (10/10)>	174,034 (国庫 174,034)	173,579 (国庫 173,579)
試験指導費	県	工業技術センターにおける設備使用・依頼試験等による企業支援 (1) 依頼試験件数 31,683件 (2) 設備使用件数 4,067件 (3) 技術相談件数 5,419件	17,260 (その他 17,260)	16,733 (その他 16,733)
計			391,727	384,897

(イ) 情報化の促進

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
中小企業IT化促進による経営改善等支援事業	県	中小企業におけるITを活用した業務の効率化や情報発信力の強化等を促進するための研修等 (1) ITユーザ企業向け研修 セキュリティ対策及びデータベース活用等の研修受講者数 延べ188人 (2) ITベンダー企業向け研修 プロジェクト管理者育成等の研修受講者数 延べ64人	千円 4,895 (一財 4,895)	千円 4,894 (一財 4,894)
計			4,895	4,894

③ 事業の成果及び今後の課題

中小企業の技術力向上のため、中小企業にテクノエキスパートを派遣し、延べ102件の技術指導を実施するとともに、専門家派遣によるIoT導入支援や工業技術センターに整備した模擬スマート工場を中小企業のIoT導入の検討、実証の場として提供することなどにより、新たにIoTに取り組む企業が44社になるなど、企業の生産性向上につながった。

なお、同センターでは、中小企業支援として、共同研究や受託研究、研究開発人材育成のほか、依頼試験、設備使用等を通じ、鉄骨建築用締結部材など、24件の製品化・実用化を支援した。

また、中小企業のIT化を促進するための研修を延べ252人に対して実施し、企業のセキュリティ対策やプログラム開発等を推進する人材の育成につながった。

今後の課題としては、より高度化する顧客のニーズに対応できるよう、新製品や新技術の開発力を高め中小企業の提案力・競争力を向上させる必要がある。

エ 受注機会の拡大

① 事業の目的

中小企業の販路拡大のため、発注企業と中小企業とのマッチング、商談会や情報交換会の開催、取引状況の調査及び情報提供等の事業により、受注機会の確保などを推進する。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円 75,709	千円 —	千円 —	千円 —	千円 75,709	千円 75,177

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
中小企業受発注 拡大支援事業	(公財)茨城県 中小企業 振興公社	下請企業振興のための情報収集・受発注情報提供事業等の実施 (1) 取引状況等の情報収集・提供 発注企業実態調査等 3回 (2) 受発注情報提供事業 ア 受発注FAXニュースの配信 11回 イ ホームページによる企業情報の提供 1,195社	千円 48,930 (一財 48,930)	千円 48,840 (一財 48,840)
ものづくり産業 マッチング 支援事業	(公財)茨城県 中小企業 振興公社	ビジネスコーディネーター等による発注企業訪問や展示商談会による中小企業の販路開拓の支援 (1) ビジネスコーディネーター等による支援 ア 発注企業訪問件数 延べ494社 イ 発注案件獲得数 302件 ウ 成約件数 78件 (2) 商談会・展示会等 ア 主な内容 (ア) 関東5県ビジネスマッチング商談会 (イ) 提案型展示商談会 (ウ) 展示会(機械要素技術展等5か所) (エ) その他(ビジネス情報交換会等) イ 参加企業総数(県内) 284社 ウ 成約総数 50件	26,779 (一財 26,779)	26,337 (一財 26,337)
計			75,709	75,177

③ 事業の成果及び今後の課題

ビジネスコーディネーターによる企業訪問などの活動により78件、商談会や展示会への出展などにより50件が成約となるなど、受注機会の確保が図られた。

今後の課題としては、企業訪問や商談会等で見積り依頼等にとどまっている未成約の案件について、定期的にフォローアップを行い確実な受注につなげていくとともに、中小企業者が自ら積極的に自社の製品や技術力を提案できるよう育成し、新たな受注の獲得を促進していく必要がある。

オ 地場産業の振興

① 事業の目的

伝統的工芸品(結城紬、笠間焼、真壁石燈籠)をはじめ、地酒や石材、菓子等の地場産業の組合等が取り組む新商品開発や販路拡大等を支援することにより、本県地場産業の育成・振興を図る。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円 15,270	千円 9,220	千円 —	千円 —	千円 24,490	千円 24,061

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
地場産業等総合支援事業	組合・グループ等県	産地組合等による販路開拓事業等への支援 (1) 地場産業等総合支援事業費補助金 展示会開催による販路開拓等に対する補助 補助対象 県石材業協同組合連合会（イベントの開催）など6件 (2) 県外イベント等への出展の支援 第33回伝統的工芸品展（福井県越前市）	千円 4,051 (一財 4,051)	千円 3,858 (一財 3,858)
新規 いばらき伝統的工芸品産業イノベーション推進事業	茨城県伝統的工芸品産地交流促進会協議会	伝統的工芸品産地の戦略的な市場開拓や新商品開発等の活動を支援 (1) 現状分析・市場調査 (2) 試験販売や産地ツアーの実施 3回 <(国1/2県1/2)>	10,050 (国庫 5,025) (一財 5,025)	10,050 (国庫 5,025) (一財 5,025)
新規 笠間陶芸大学校事業	県	県立笠間陶芸大学校において、次代の陶芸産地を担う人材を育成 (1) 新カリキュラム，特別講座の実施 (2) オープンキャンパス開催 2回 (63人) (3) 学校等訪問活動 32か所	10,389 (その他 4,579) (一財 5,810)	10,153 (その他 4,344) (一財 5,809)
計			24,490	24,061

③ 事業の成果及び今後の課題

真壁石燈籠の展示会開催のほか、県産日本酒や納豆の日イベント等を実施した結果、本県の伝統的工芸品やその技法、地場産品の新たな商談や幅広いPRにつながった。

また、伝統的工芸品の新商品開発に加え、都内セレクトショップ等での試験販売による市場開拓が図られた。

さらに、笠間陶芸大学校における新カリキュラム実施により、学生の公募展入賞等の成果が見られたほか、積極的な広報活動等を行い、第2期生の入学試験を実施した結果、陶芸学科（定員10人）と研究科（定員若干名）で合わせて26人の応募があった。

今後の課題としては、首都圏等の大消費地における新たな販路開拓や、産地の知名度・イメージの向上を図るため、引き続き、後継者の育成や新商品開発、販路拡大等について支援していく必要がある。

カ 商業の振興

① 事業の目的

商店主の高齢化・後継者不足や大型店の郊外立地などにより、厳しい状況にある商店街や中心市街地の活性化を図るため、消費者ニーズ等を踏まえた個店や商店街の魅力づくりなどの取組を支援する。

また、大型店の立地に伴う周辺地域の生活環境を保持するため、大規模小売店舗立地法の適正な運用を図る。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円 30,820	千円 △4,554	千円 —	千円 —	千円 26,266	千円 25,282

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
商店街活力向上支援事業	商店街等	1 商店街活性化コンペ事業 商業者等が取り組む商店街活性化事業に対する補助 補助件数 4件 2 魅力ある商店街づくり支援事業 商店街活性化プランの策定及びプランに基づく事業に対して市町村とともに補助 補助件数 8件	千円 17,487 (一財 17,487)	千円 16,607 (一財 16,607)
いばらき商人塾事業	県	商店街を担う人材育成事業の実施 (1) あきんど育成コース (商店主育成) 県内3地区, 各5回, 参加者65人 (2) 商店街コンダクター育成コース (商店街リーダー育成) 県内3地区, 各5回, 参加者92人	5,543 (一財 5,543)	5,541 (一財 5,541)
中心市街地活性化対策連絡会議事業	県	中心市街地活性化セミナーの開催による先進事例の紹介や情報交換等の実施 (1) 開催回数 1回 (2) 参加者 57人	122 (一財 122)	120 (一財 120)
大店立地法施行費	県	大規模小売店舗立地法に基づく届出に係る審議会の開催等 (1) 審議会 5回 新設11件 (2) 連絡調整会議 5回 新設11件 変更56件	3,114 (その他7) (一財 3,107)	3,014 (その他7) (一財 3,007)
計			26,266	25,282

③ 事業の成果及び今後の課題

商店街活性化コンペ事業、魅力ある商店街づくり支援事業により、商店街活性化に資する地域の取組に対し、12団体へ補助を行い、来街者の増加、街並み景観の向上などが図られた。また、商店街を担う人材の育成を行ういばらき商人塾事業では、予定（各コース30人）を上回る参加があった。

さらに、中心市街地活性化の機運醸成を図るため、市町村・商工団体など関係者を対象としたセミナーを開催するとともに、2市の中心市街地活性化協議会に4回出席し助言等を行った。

大型店の立地については、新設及び変更届出に係る指導や審議会等の開催などにより、大型店の周辺地域の生活環境の保持が図られた。

今後の課題としては、引き続き、商店街の活性化と個店の魅力向上につながる取組を支援するとともに、大規模小売店舗立地法の適正な運用を図っていく必要がある。

キ 経営力の向上及び被災中小企業の復興支援

① 事業の目的

中小企業が社会経済情勢の変化に的確に対応して経営力の向上を図るため、新商品・新サービスの開発や新事業展開などの経営革新の取組を促進するとともに、経営に関する知識を体系的に習得する機会を提供する。また、中小企業の多様なニーズに応じた支援を行うため、商工会等に対する経費の補助により、中小企業支援体制の充実を図る。

さらに、関東・東北豪雨により被災した中小企業の復興に向けた取組を支援する。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円 1,877,338	千円 △65,917	千円 —	千円 —	千円 1,811,421	千円 1,809,792

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
経営革新支援事業	県	<p>中小企業による新商品開発や新分野進出等の経営革新を支援</p> <p>(1) 中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認 255件</p> <p>(2) 経営革新計画承認企業に対する専門家派遣による診断及び助言の実施 42社</p> <p>(3) 普及啓発事業 中小企業経営革新支援協議会の開催 1回</p>	千円 2,352 (一財 2,352)	千円 1,985 (一財 1,985)
小規模事業支援助成	商工会 商工会議所 茨城県商工会連合会	<p>1 商工会・商工会議所職員設置費等（人件費，指導事業費）への補助 経営指導員等 307人</p> <p>2 茨城県商工会連合会職員設置費等（人件費，指導事業費）への補助 商工会指導員等 21人</p> <p>3 商工会・商工会議所・茨城県商工会連合会が行う地域活性化や人材育成等の事業への補助</p>	1,806,642 (一財 1,806,642)	1,805,415 (一財 1,805,415)
小規模事業者等経営力向上促進事業	県	<p>小規模企業の経営者等を対象として，経営を体系的に学ぶ「いばらき経営向上塾」を開催</p> <p>(1) 総時間 30時間（15日間）</p> <p>(2) 受講者 経営向上塾 54人 公開講座 234人</p>	2,427 (一財 2,427)	2,392 (一財 2,392)
新規 茨城県関東・東北豪雨被災中小企業復興支援基金事業（豪雨対応）	(公財)茨城県中小企業振興公社	<p>豪雨により被災した中小企業の復興に向けた取組を支援するため，基金の運用益を活用し，復興イベントの開催や販路開拓等の取組を支援</p> <p>(1) 基金造成規模 総額300億円</p> <p>(2) 交付実績 10件 7,515,830円</p> <p>・被災中小企業等復興計画策定支援事業（補助率10/10，上限50万円） 2件 947,925円</p> <p>・被災地復興イベント開催等支援事業（補助率10/10，上限100万円） 6件 4,025,905円</p> <p>・被災中小企業等販路開拓等支援事業（補助率 3/4，上限300万円） 2件 2,542,000円</p>	—	—
計			1,811,421	1,809,792

③ 事業の成果及び今後の課題

中小企業の経営力向上については，新たに255件の経営革新計画を承認し，平成27年度実績の

200件を大幅に上回った。また、商工会等における経営指導については、67,903件の指導を行い、中小企業の多様なニーズに対応した。さらに、「いばらき経営向上塾」には54人が受講し、中小企業の経営力の向上が図られた。

関東・東北豪雨による被災企業の復興支援については、基金の運用益を活用し、復興イベントの開催や販路開拓事業の実施等10件の取組を支援した。

今後の課題としては、中小企業による経営革新の取組や経営に関する知識の習得を促進するとともに、引き続き各支援機関と連携を図り、中小企業の経営課題の解決に向けた支援を行い、中小企業の経営力の向上を図る必要がある。また、引き続き被災中小企業による復興に向けた取組を支援することにより、復興を加速させていく必要がある。

(2) 産学官連携の推進

① 事業の目的

産学官で構成する「いばらき成長産業振興協議会」に分野毎に設置した研究会活動を通じ、県内中小企業の成長分野への進出を促進するほか、J-PARC利用及び周辺機器開発案件等の受注支援や、医療・介護分野等での一貫した機器開発支援等を通じ、産業の活性化を図る。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円	千円	千円	千円	千円	千円
254,387	△14,284	—	—	240,103	233,384

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
			千円	千円
成長産業振興プロジェクト事業	県	いばらき成長産業振興協議会の運営 (1) 大手企業等との交流 18回 (2) 情報提供（講演会等） 21回 (3) 各研究会における技術・製品開発支援	45,813 (一財 45,813)	45,725 (一財 45,725)
県内中性子利活用促進事業	県	県内中性子利用連絡協議会の運営 (1) 技術講演会、関連施設等見学会 4回 (2) 研究機関等における技術展示会 2回 (3) 入札情報メール配信等 46報（474件） (4) 会員企業のJ-PARC実験課題採択 2件 (5) 周辺機器開発等の受注 64件（約11億円）	8,394 (一財 8,394)	8,392 (一財 8,392)
グローバルニッチトップ企業育成促進事業	県	医療・介護分野等における機器開発支援等 (1) 技術開発 5件 (2) 試作開発 5件 (3) 臨床・実証試験 1件 (4) 導入促進補助 7件 (5) 製品化 2件 <国補（1/2）>	185,896 (国庫 92,948) (一財 92,948)	179,267 (国庫 89,634) (一財 89,633)
計			240,103	233,384

③ 事業の成果及び今後の課題

いばらき成長産業振興協議会では、環境・新エネルギー、健康・医療機器など5分野の研究会活動を推進し、製品化・試作案件が23件、大手企業等との取引開始が8件など、県内中小企業の成長分野進出を促進した。

また、J-PARC関連では、県内中性子利用連絡協議会会員企業の実験課題が2件採択され、64件（約11億円）の周辺機器開発案件を受注する等の成果があった。

さらに医療・介護等の分野で、地域の中核的企業の育成に資する機器開発支援を行い、製品化につなげたほか、開発機器の導入促進補助により、介護施設等の作業現場の負担軽減に資することができた。

今後の課題としては、シーズの発掘や産学連携体制の強化等を通じ、新製品開発等の一層の促進を図るとともに、J-PARC利用については、保有技術の高度化や、生産現場の課題解決につながる提案を行うことで、利用企業の増加を図る必要がある。

さらに、医療・介護分野等の機器開発支援では、機器開発後の販路開拓等に関する支援を進め、世界のトップを狙える中核的企業の育成を進める必要がある。

(3) 観光物産

ア 観光客の誘客促進

① 事業の目的

2019年の茨城国体、2020年の東京オリンピック・パラリンピックなどの開催に向け、国内外から一層の観光客の増加が見込まれることから、本県の特徴を活かした新たな観光資源の発掘やSNSやメディアを活用した情報発信等により、本県への誘客に積極的に取り組む。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円	千円	千円	千円	千円	千円
223,378	89,249	265,657	—	578,284	551,653

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額	
			千円	千円	
漫遊いばらき 観光キャンペーン事業	漫遊いばらき 観光キャンペーン推進 協議会	1 宣伝事業			
		(1) テレビ・ラジオ放送	6番組		
		(2) 新聞・雑誌広告等の掲載	22社 39回		
		(3) 季節の観光ポスターの作成	5,600枚		
		(4) 観光マップ2017の作成	150,000部		
		(5) 総合観光パンフレットの作成	50,000部		
		(6) 街頭キャンペーンの実施	89回	23,825	23,758
		2 旅行商品造成支援事業	15商品	(その他 860)	(その他 860)
		3 イベント事業		(一財 22,965)	(一財 22,898)
		(1) ワンデープランの実施	37コース 812人		
(2) スタンプラリーの実施					
ア 期間	平成28年4月29日～11月30日				
イ 応募数	10,319通				
4 地域支援事業	支援数	24団体			

魅力発信支援事業	県	<p>電源地域を中心に、県内の優れた観光情報等を効果的に発信することにより本県への誘客を促進し、観光産業育成を支援</p> <p>1 雑誌等への記事掲載 雑誌4誌, フリーペーパー1誌, Webサイト2社</p> <p>2 旅に関するイベントへの出展等 (1)パンフレット作成 「iine Ibaraki」 27,000部 (2)「女子旅EXPO」への出展 ア 期日 平成28年9月7日 イ 場所 ザ・プリンスパークタワー東京</p> <p>3 観光情報誌を活用した魅力発信 「いばらき時間」(夏号・早春号)の作成 各80,000部</p> <p>4 観光キャンペーンの実施 4回</p> <p>5 大洗の観光資源を活用した魅力発信 (1)パンフレット作成 「大洗グルメガイドマップ」 30,000部 (2)フリーペーパーへの記事掲載 「パリッシュ」平成28年8月号 (3)「大洗商工感謝祭」への出展等 ア 期日 平成28年11月3日 イ 場所 大洗マリンタワー(大洗町) <国補(10/10)></p>	54,241 (国庫54,241)	54,169 (国庫54,169)
いばらき夢ガイド設置事業	県	<p>観光イベント等において、県の観光案内・PRを行う「いばらき夢ガイド」(2人)の設置</p> <p>1 イベント等での案内, PR (1)活動日数 102回 154日 (2)活動人員 延べ195人</p> <p>2 茨城マルシェ等での案内, PR (1)活動日数 12日 (2)活動人員 延べ12人</p>	16,747 (その他16,747)	16,746 (その他16,746)
いばらき・とちぎ魅力発信事業(震災対応)	県	<p>栃木県と一体となった魅力ある宣伝活動を実施することにより、茨城空港の就航先等からの観光誘客を促進</p> <p>1 旅行商品販売促進事業 (1)旅行商品送客補助 ア 件数及びツアー本数 37件 58本 イ 送客数 1,468人 (2)販売店アタック事業 就航先の旅行会社等 延べ60社訪問</p> <p>2 メディアを活用した宣伝事業 地域情報誌等への掲載 5誌</p> <p>3 就航先キャンペーンの実施 札幌1回, 神戸3回, 福岡1回 計5回</p>	10,000 (その他10,000)	10,000 (その他10,000)
いいねいばらき・JR連携観光キャンペーン事業(震災対応)	県	<p>JR東日本や市町村等と連携した観光キャンペーンを実施し、誘客を促進</p> <p>1 イベント列車の運行 (1)常磐線 2本 (2)水郡線 2本</p>	8,267 (その他8,267)	8,266 (その他8,266)

		<p>2 重点宣伝地域の指定 連貼り（5連）ポスターを制作し，JR全6社の主要駅に平成28年11月1日～30日の1か月間掲出</p> <p>3 首都圏主要駅での物産展 JR横浜駅及び品川駅，日暮里駅の3駅において，観光PRと特産品販売を実施</p> <p>4 連続テレビ小説「ひよっこ」を活用した誘客パンフレット及びノベルティの制作</p>		
茨城空港就航先誘客促進事業	県	<p>茨城空港就航先に旅行商品造成の働きかけ等を行い，本県への誘客を促進</p> <p>1 就航先メディア等活用 モニターツアー 3本 （メディア16人，ブロガー35人，教員6人参加）</p> <p>2 修学・研修旅行造成支援 （1）件数 12件 （2）送客数 261人</p>	10,437 <small>（その他 10,437）</small>	10,435 <small>（その他 10,435）</small>
新規 来て見て県北誘客促進等事業	県	<p>「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」の入場券と宿泊料金を組み合わせた宿泊プランが割引となる「電子クーポン」及び「宿泊割引券」の発行</p> <p>1 発行枚数 6,000枚 （電子クーポン5,500枚，宿泊割引券500枚）</p> <p>2 利用期間 平成28年9月16日～11月21日</p> <p>3 対象施設 県北6市町に所在するホテル・旅館・民宿</p> <p>4 利用実績 電子クーポン 3,637枚／5,500枚（66.1%） 宿泊割引券 182枚／500枚（36.4%） 合計 3,819枚／6,000枚（63.7%）</p>	15,780 <small>（その他 15,780）</small>	15,780 <small>（その他 15,780）</small>
新規 海水浴場安全確保促進事業	県	<p>海水浴客の安全を確保するため，県内の海水浴場開設者が実施するサメ防護網の購入・設置・撤去に対する補助</p> <p>2市町3海水浴場</p>	6,000 <small>（一財 6,000）</small>	6,000 <small>（一財 6,000）</small>
おみやげ販路拡大支援事業	県	<p>おみやげ大賞2016の顕彰や，入賞商品を中心とした販売キャンペーンを実施し，販路拡大を促進</p> <p>1 おみやげ大賞2016の顕彰 （1）出品数 148商品 （2）顕彰 最高金賞 10商品 金賞 22商品 外国人部門 3商品</p> <p>2 販売キャンペーン 首都圏等の高級スーパーや鉄道駅等，12か所において，入賞商品の販売を実施</p>	7,148 <small>（その他 7,148）</small>	7,138 <small>（その他 7,138）</small>
いばらきおもてなしレベルアップ事業	県	<p>全県的なおもてなし機運の醸成と人材育成により，観光客の受入体制を強化</p> <p>1 おもてなし県民大会の開催 （1）期日 平成28年7月3日</p>	17,491 <small>（一財 17,491）</small>	16,600 <small>（一財 16,600）</small>

		<p>(2) 場所 常陸太田市民交流センターパーティ ホール</p> <p>(3) 参加者 約1,000人</p> <p>2 街頭キャンペーンの実施</p> <p>(1) 期日 平成28年7月1日, 4日</p> <p>(2) 場所 水戸駅, 土浦駅, 日立駅, 新鉾田駅, 下館駅</p> <p>(3) 参加者 232人</p> <p>3 おもてなし講座の開催</p> <p>(1) 場所 県内6地区(延べ12回)</p> <p>(2) 参加者 462人</p> <p>4 観光ボランティアガイド研修経費の補助 7団体</p> <p>5 おもてなしハンドブックの配布 配布先 県内全小学4年生等 約26,000人</p> <p>6 民間宿泊施設のトイレ改修等に対する補助 23施設 91基</p> <p>7 観光マイスターの認定</p> <table border="1" data-bbox="534 824 1109 985"> <thead> <tr> <th rowspan="2">認定区分</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th rowspan="2">認定者 (累計)</th> </tr> <tr> <th>受験者</th> <th>認定者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光マイスター</td> <td>501人</td> <td>294人</td> <td>576人</td> </tr> <tr> <td>同S級</td> <td>190人</td> <td>61人</td> <td>108人</td> </tr> </tbody> </table>	認定区分	平成28年度		認定者 (累計)	受験者	認定者	観光マイスター	501人	294人	576人	同S級	190人	61人	108人		
認定区分	平成28年度			認定者 (累計)														
	受験者	認定者																
観光マイスター	501人	294人	576人															
同S級	190人	61人	108人															
<p>新規 DMO観光地域 づくり推進事業</p>	<p>県</p>	<p>DMOの形成・確立に向けた, 地域資源の磨き 上げ等の実施</p> <p>1 DMO形成に向けた調査・分析 観光客の旅行動態等実態調査の実施</p> <p>2 地域資源の磨き上げ</p> <p>(1) 魅力ある観光地域づくり</p> <p>ア 宿泊施設の新設・改修等に対する補助 20施設</p> <p>イ 民間観光施設のトイレ改修等に対する補 助 14施設 28基</p> <p>(2) 県北周遊観光促進</p> <p>ア 六角堂を活用したモニターツアーの実施</p> <p>イ 地域景観を活用したイベント「満月 バー」の開催</p> <p>ウ 詩歩氏と連携したモニターツアー及び フォトコンテストの実施</p> <p>3 DMOの形成・確立に向けた人材の育成・活 用</p> <p>(1) 観光地域づくりセミナーの開催 1回 150人</p> <p>(2) 観光マイスターS級認定者向け県内観光地 現地研修会の開催 1回 20人</p> <p>(3) 観光パンフレット「マイスターズセレク ション」の作成・配布</p> <p>ア 作成部数 10,000部</p> <p>イ 配布先 観光マイスター, 観光施設等</p> <p>4 稼げる観光産業の振興 「おみやげ大賞」入賞商品を中心とした販売 キャンペーンの実施</p>	<p>364,033 (国庫 294,845) (一財 69,188)</p>	<p>338,495 (国庫 289,970) (一財 48,525)</p>														

		<p>5 国際観光誘客促進</p> <p>(1) 北関東三県の広域連携による海外プロモーションの実施</p> <p>ア 海外旅行博や商談会を活用した観光PR 中国, 台湾</p> <p>イ 中国・台湾の旅行会社等を対象としたモニターツアーの実施 実施回数・招請者数 4回 16人</p> <p>ウ 周遊ツアーの造成支援</p> <p>(2) 農村地域における訪日外国人の受入推進</p> <p>ア 食と農のワークショップの実施 4回 55人</p> <p>イ 食と農の体験型モニターツアーの実施 2回 33人</p> <p>(3) グエン・コン・フォン選手を活用したベトナムへの魅力発信 旅行会社・メディアを対象としたモニターツアーの実施 実施回数・招請者数 3回 60人</p> <p>(4) 「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」を活用した台湾メディア等の招請 招請者数 3人</p> <p>(5) 香港・韓国向け観光プロモーション</p> <p>ア 韓国(済州)の旅行会社等を対象とした観光説明会の実施 参加社数 23社</p> <p>イ 香港の一般市民を対象とした観光PRセミナーの実施 参加者数 119人</p> <p>(6) 北米向け観光プロモーション</p> <p>ア 海外旅行博を活用した観光PR アメリカ, カナダ</p> <p>イ 旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」への広告掲出</p> <p>ウ 成田空港のトランジット客を対象とした県内周遊ツアーの実施 実施本数 10本</p> <p><国補(10/10)等></p>		
外国人観光客誘客促進事業	県	<p>中国や台湾, 東南アジアを中心とした本県観光の戦略的な情報発信や旅行会社に対する旅行商品造成の働きかけ, 受入体制の整備促進等</p> <p>1 PR・情報発信 海外旅行博や商談会を活用した観光PR 中国, 台湾, 香港, シンガポール, ベトナム, タイ, マレーシア</p> <p>2 旅行商品造成促進</p> <p>(1) 旅行会社OB等による誘客活動の実施</p> <p>ア 配置人数 7人</p> <p>イ 活動内容 旅行会社に対する旅行商品造成の働きかけ, 訪日教育旅行の誘致, ツアー受入に係る県内観光事業者との調整及び通訳</p>	44,315 (その他 43,213) (一財 1,102)	44,266 (その他 43,164) (一財 1,102)

		(2) ベトナムからのツアーに対するバス代補助 補助件数 48件		
		(3) 在京ランドオペレーターを対象としたモニターツアーの実施 実施回数・参加者数 2回 9人		
		(4) 留学生を対象としたモニターツアー 実施回数・参加者数 4回 155人		
		3 受入体制整備		
		(1) 外国人観光客の買物環境整備		
		ア 免税店舗拡大セミナーの実施 実施回数・参加者数 1回 43人		
		イ 県内免税店マップ(英語・中国語)の作成		
		(2) 宿泊施設を対象とした外国語研修会の実施 実施回数・参加者数 5回 87人		
計			578,284	551,653

③ 事業の成果及び今後の課題

首都圏や茨城空港の就航先における各種宣伝活動の展開により、本県観光地の認知度を向上させるとともに、平成28年の県内観光入込客数6,181万人の誘客に寄与することができた。

特に、海外からの誘客については、来県需要が見込める市場を対象に、海外プロモーションを戦略的に展開した結果、平成28年度に本県を周遊・宿泊した団体ツアーは、前年度の約1.5倍となる2,012ツアーが催行され、国際観光関係施策の効果が大きく現れた。

今後の課題としては、茨城県観光振興基本計画の目標値である平成32年の入込客数6,200万人の達成に向け、観光キャンペーンや旅行会社へのツアー造成の働きかけ、茨城版DMOの形成確立に向けた人材の育成・確保や魅力ある観光地域づくりなど、誘客の促進及び観光消費額の増加に引き続き取り組む必要がある。

イ フィルムコミッションの推進

① 事業の目的

映画やテレビドラマなどが持つ映像の魅力を通じて本県のイメージアップや、観光誘客の促進を図る。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円	千円	千円	千円	千円	千円
13,574	3,553	—	—	17,127	16,903

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
			千円	千円
フィルムコミッション推進事業	県	ロケの誘致、支援を行うとともに、ロケ地マップの作成・配布やホームページの更新等を行い、ロケ情報を積極的に発信 (1) ロケ作品数 526作品 (2) 撮影日数 延べ1,147日	12,589 (その他18) (一財12,571)	12,365 (その他19) (一財12,346)

映像祭を活用した茨城の魅力発信事業 (震災対応)	県	茨城の魅力にあふれた25分以内のショートフィルムを募集し、茨城の魅力を国内外に発信 (1) 第3回いばらきショートフィルム大賞 ア 上映実績	4,538 (その他 4,538)	4,538 (その他 4,538)								
		<table border="1"> <tr> <th>国内上映</th> <th>海外上映</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>2,117人 14か所</td> <td>652人 3か所</td> <td>13,513人 16か所</td> <td>16,282人 33か所</td> </tr> </table>			国内上映	海外上映	その他	計	2,117人 14か所	652人 3か所	13,513人 16か所	16,282人 33か所
		国内上映			海外上映	その他	計					
2,117人 14か所	652人 3か所	13,513人 16か所	16,282人 33か所									
イ 主な上映場所 <ul style="list-style-type: none"> ・ S S F F & A S I A大阪2016 ・ S S F F & A S I A2016 ・ 茨城県立図書館 ・ グアナファト国際映画祭 (メキシコ) ・ アラブ国際映画祭 in ガベス (チュニジア) ・ 第16回高雄映画祭 (台湾) 等 (2) 第4回いばらきショートフィルム大賞 応募作品数 86作品												
計			17,127	16,903								

③ 事業の成果及び今後の課題

ロケ支援作品数が526作品で前年比10%減であったが、ロケ日数は前年比2%増となった。

また、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭である「ショートショートフィルムフェスティバル&アジア2016」と連携した「第3回いばらきショートフィルム大賞」の大賞作品を国内外の映画祭や県立図書館及びいばらきTVなど33か所で上映し、本県の魅力を発信したほか、雑誌・ホームページで第4回いばらきショートフィルム大賞の募集を行い、第1回に次ぐ86作品の応募があった。

今後の課題としては、映像制作関係者のニーズに合ったロケ地の提案や、話題性のある支援作品を活用したロケ地めぐりツアーの造成等を図る必要がある。

(4) 労働対策

ア 労働福祉の充実

① 事業の目的

労働環境の改善を図るため、勤労者福祉の増進や安定した労使関係の形成、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進を図る必要がある。

このため、労働問題に関する相談や勤労者に対する生活資金等の低利貸付け等を行うとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発を通して、労働福祉の充実を図る。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円	千円	千円	千円	千円	千円
53,727	△8,999	—	—	44,728	44,410

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
いばらき労働相談センター事業	県	<p>専門の労働相談員を配置し、労働問題に関する相談に対応</p> <p>(1) 設置場所 いばらき就職・生活総合支援センター</p> <p>(2) 相談件数 1,205件</p>	<p>千円</p> <p>7,798 (その他 8) (一財 7,790)</p>	<p>千円</p> <p>7,697 (その他 7) (一財 7,690)</p>
緊急生活支援融資資金貸付事業	県	<p>失業者や勤労者に対する緊急生活支援対策として、中央労働金庫との協調による低利融資を実施</p> <p>新規貸付件数 20件</p>	<p>28,932 (その他 28,806) (一財 126)</p>	<p>28,931 (その他 28,806) (一財 125)</p>
<p>一部新規</p> <p>仕事と生活の調和推進事業</p>	県	<p>1 仕事と生活の調和の普及促進 仕事と生活の調和についての普及・啓発や、取組に積極的な中小企業に対する支援</p> <p>(1) いばらきワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施 新規 ア WL B推進月間の設定 (11月) イ WL B推進月間取組宣言書の提出 555社</p> <p>(2) ワーク・ライフ・バランスアドバイザーによる支援 社会保険労務士 5 人が中小企業を訪問し、ワーク・ライフ・バランスについて普及・啓発 訪問企業数 98社</p> <p>(3) ワーク・ライフ・バランス取組支援セミナーの開催 新規 ア 講演会 (1 回目) (ア) 期日 平成28年 9 月 5 日 (イ) 場所 水戸市 (ウ) 参加者 202人 イ セミナー (2 回目, 3 回目) (ア) 期日 平成28年10月19日, 12月13日 (イ) 場所 水戸市 (ウ) 参加者 延べ58人</p> <p>(4) 「仕事と生活の調和推進計画」の策定支援 中小企業等が従業員の働き方の見直しを推進するための計画策定を支援 計画策定届出数 58社</p> <p>(5) 「仕事と生活の調和支援奨励金」の支給 育児・介護休業法が努力義務とする短時間勤務制度等を導入し、利用させた中小企業主に奨励金を支給 支給実績 10件 3,000千円</p> <p>2 女性の就業支援 女性が働きやすい県内企業を募った就職説明会の開催及び女性専用の相談窓口の設置</p> <p>(1) 女性が働きやすい県内企業を募った就職説明会の開催 ア 参加企業 41社 イ 参加者 延べ380人</p> <p>(2) 就職支援センターにおける「マザーズ応援窓口」の設置 相談件数 130件</p>	<p>7,998 (一財 7,998)</p>	<p>7,782 (一財 7,782)</p>
計			44,728	44,410

③ 事業の成果及び今後の課題

労働相談を受けた1,205件について、茨城労働局等と連携した支援を行い、労働問題の解決に努めた。

また、勤労者等に対し新たに20件13,740千円の低利融資を中央労働金庫と協調して行い、勤労者等の生活安定等に資することができた。

新たに、11月をいばらきワーク・ライフ・バランス推進月間と定め、県内一斉ノー残業デーなどを実施するとともに、定時退社などの自主的な取組について、555社から宣言を得るなど、全県的なワーク・ライフ・バランスの気運醸成を図った。

今後の課題としては、労働相談に的確に対応するための相談員の資質向上や、長時間労働の是正による仕事と生活の調和が図られた働き方の実現に向けて、公労使が連携してワーク・ライフ・バランスの普及・啓発に取り組む必要がある。

イ 雇用の促進

① 事業の目的

県内の雇用情勢は、平成26年3月以降改善が進んでいる一方で、採用意欲はあるものの人材確保が困難な企業も多いことから、引き続き、若年者、高齢者、障害者、女性を含む求職者に対する雇用対策を推進する。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円	千円	千円	千円	千円	千円
505,961	△47,664	62,211	—	520,508	475,146

(ア) 県民の雇用支援

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
			千円	千円
いばらき就職支援センター事業	県	就職相談、職業適性診断、カウンセリング、職業能力開発支援等、職業紹介までの一貫した就職支援サービス及び求職者に対する生活支援相談の実施 (1) 利用者 31,807人 (2) 利用件数 39,894件 (3) 就職決定者 1,625人 (4) 生活支援相談者 171人 (5) 生活支援相談件数 361件	143,688 (その他 776) (一財 142,912)	141,453 (その他 707) (一財 140,746)
事業復興型雇用創出事業(震災対応)	県	被災地において、産業政策と一体となって被災求職者を雇用する事業者に助成金を支給(事業採択は平成26年度終了)	299,021 (その他 299,021)	260,300 (その他 260,300)
計			442,709	401,753

(イ) 若年者に対する就職支援

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
			千円	千円
大卒等就職面接会開催事業	県	平成29年3月の大学・短大・専修学校等卒業予定者及び既卒未就職者を対象とした就職面接会を開催	1,179 (一財 1,179)	1,158 (一財 1,158)

		<p>(1) 前期</p> <p>ア 開催場所等</p> <p>(ア) 水戸会場 期日 平成28年6月13日 参加企業 88社, 学生等 144人</p> <p>(イ) 土浦会場 期日 平成28年6月20日 参加企業 64社, 学生等 97人</p> <p>イ 内定者 41人</p> <p>(2) 後期</p> <p>ア 開催場所等</p> <p>(ア) 水戸会場 期日 平成28年9月30日 参加企業 88社, 学生等 81人</p> <p>(イ) 土浦会場 期日 平成28年10月11日 参加企業 61社, 学生等 69人</p> <p>イ 内定者 25人</p>		
新規 若者正規雇用化 支援スキル アップ事業	県	大卒等未就職者を対象とした、ビジネスマナー等の基礎研修の実施 参加者 30人	1,000 (一財 1,000)	1,000 (一財 1,000)
新規 地方創生人材 還流・定着支援 事業	県	<p>1 大好きいばらきU I J ターン促進事業 主に首都圏に進学した本県出身の大学生について、県内企業へのU I J ターン就職を促進</p> <p>(1) 県内企業インターンシップ 参加学生数 1,108人</p> <p>(2) 合同就職面接会の開催 (2回)</p> <p>ア 参加企業 各50社 イ 参加者 学生 延べ243人</p> <p>(3) 合同企業説明会の開催 (1回)</p> <p>ア 参加企業 50社 イ 参加者 学生 延べ375人</p> <p>(4) 魅力発見バスツアーの開催 (4回)</p> <p>ア 訪問企業 12社 イ 参加者 学生 34人</p> <p>2 地元就職・人材定着支援事業 県内大学生の地元定着を図るため企業説明会及びバスツアーを開催</p> <p>(1) 企業説明会の開催 (6回)</p> <p>ア 参加企業 48社 イ 参加者 学生 延べ775人 大学採用担当者 37人</p> <p>(2) バスツアーの開催 (6回)</p> <p>ア 参加企業 延べ13社 イ 参加者 学生 延べ138人 大学 延べ8校 <国補 (10/10)></p>	62,211 (国庫 20,903) (その他 25) (一財 41,283)	57,916 (国庫 18,086) (その他 -) (一財 39,830)
計			64,390	60,074

(ウ) 高年齢者・障害者の就業支援

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額
シルバー人材センター連合会運営費補助	(公社)茨城県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の県内全域への普及・拡大を図るため、(公社)茨城県シルバー人材センター連合会に対し運営費を補助	千円 9,180 (一財 9,180)	千円 9,180 (一財 9,180)
障害者就職面接会開催事業	県	障害者の雇用機会を拡大するため合同就職面接会を開催 (1) 前期(9月) 県内5ブロックで開催 ア 企業数 239社 イ 求職者 661人 ウ 就職者 112人 (2) 後期(2月) 県内5ブロックで開催 ア 企業数 217社 イ 求職者 557人 ウ 就職者 74人	807 (一財 807)	746 (一財 746)
職場適応訓練事業	県	公共職業安定所の受講指示があった障害者等に対し、事業主に職場適応訓練事業を委託し、訓練生には職業転換給付金(訓練手当)を支給 (1) 委託先 (社福)自立奉仕会 (2) 訓練実施者 2人 <国補(1/2)>	3,422 (国庫 1,711) (一財 1,711)	3,393 (国庫 1,934) (一財 1,459)
計			13,409	13,319

③ 事業の成果及び今後の課題

いばらき就職・生活総合支援センター及び各地区センターにおいて、求職者に対する就職相談からキャリアカウンセリング、職業紹介までの就職支援サービスをワンストップで提供し、1,625人の就職が決定した。

また、大学生等や障害者を対象とした就職面接会を開催し、大学生等66人の内定、障害者186人の就職が決定した。

さらに、茨城県雇用創出等基金を活用した事業復興型雇用創出事業を実施し、764人の雇用を創出した。

今後の課題としては、一層の若者の就職・職場定着支援、女性・高年齢者・障害者等の多様な人材の活用や本県への人材の定着及び還流並びに雇用の安定や待遇の改善を図るとともに、非正規雇用労働者等の正規雇用化を促進する必要がある。

ウ 職業能力開発

① 事業の目的

第10次茨城県職業能力開発計画に基づき、公共における職業訓練の充実等により、優れた技能者の育成や多様な労働力の活用促進に取り組み、本県産業の活力を支える人材を育成する。

② 事業の実績

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	次年度繰越額	最終予算額	決算額
千円 896,272	千円 △206,914	千円 —	千円 —	千円 689,358	千円 627,716

事業名	事業主体	事業内容	予算額	決算額																																																																																																														
新規学卒者 訓練事業	県	<p>新規高校卒業者等を対象として、職業に必要な技能・知識等の習得を図るため、産業技術短期大学校及び5産業技術専門学院において職業訓練を実施</p> <p>(1) 産業技術短期大学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>訓練期間</th> <th>年次</th> <th>定員 (人)</th> <th>訓練生 (人)</th> <th>修了者 (人)</th> <th>就職希望者 (人)</th> <th>就職者 (人)</th> <th>就職率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">情報システム科</td> <td rowspan="3">2年</td> <td>1年</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">情報処理科</td> <td rowspan="3">2年</td> <td>1年</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>80</td> <td>76</td> <td>35</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 産業技術専門学院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>訓練期間 (訓練科数)</th> <th>年次</th> <th>定員 (人)</th> <th>訓練生 (人)</th> <th>修了者 (人)</th> <th>就職希望者 (人)</th> <th>就職者 (人)</th> <th>就職率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年 (4)</td> <td>1年</td> <td>75</td> <td>45</td> <td>37</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2年 (7)</td> <td>1年</td> <td>145</td> <td>107</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>145</td> <td>99</td> <td>96</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>290</td> <td>206</td> <td>96</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計(11)</td> <td>365</td> <td>251</td> <td>133</td> <td>128</td> <td>128</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p><国補(定)等></p>	区分	訓練期間	年次	定員 (人)	訓練生 (人)	修了者 (人)	就職希望者 (人)	就職者 (人)	就職率 (%)	情報システム科	2年	1年	20	21	-	-	-	-	2年	20	19	19	16	16	100.0	計	40	40	19	16	16	100.0	情報処理科	2年	1年	20	20	-	-	-	-	2年	20	16	16	16	16	100.0	計	40	36	16	16	16	100.0	合計			80	76	35	32	32	100.0	訓練期間 (訓練科数)	年次	定員 (人)	訓練生 (人)	修了者 (人)	就職希望者 (人)	就職者 (人)	就職率 (%)	1年 (4)	1年	75	45	37	33	33	100.0	2年 (7)	1年	145	107	-	-	-	-	2年	145	99	96	95	95	100.0	計	290	206	96	95	95	100.0	合計(11)		365	251	133	128	128	100.0	千円 196,816 (国庫 61,876) (その他 60,917) (一財 74,023)	千円 191,514 (国庫 61,877) (その他 61,880) (一財 67,757)
		区分	訓練期間	年次	定員 (人)	訓練生 (人)	修了者 (人)	就職希望者 (人)	就職者 (人)	就職率 (%)																																																																																																								
		情報システム科	2年	1年	20	21	-	-	-	-																																																																																																								
				2年	20	19	19	16	16	100.0																																																																																																								
				計	40	40	19	16	16	100.0																																																																																																								
		情報処理科	2年	1年	20	20	-	-	-	-																																																																																																								
				2年	20	16	16	16	16	100.0																																																																																																								
				計	40	36	16	16	16	100.0																																																																																																								
		合計			80	76	35	32	32	100.0																																																																																																								
		訓練期間 (訓練科数)	年次	定員 (人)	訓練生 (人)	修了者 (人)	就職希望者 (人)	就職者 (人)	就職率 (%)																																																																																																									
1年 (4)	1年	75	45	37	33	33	100.0																																																																																																											
2年 (7)	1年	145	107	-	-	-	-																																																																																																											
	2年	145	99	96	95	95	100.0																																																																																																											
	計	290	206	96	95	95	100.0																																																																																																											
合計(11)		365	251	133	128	128	100.0																																																																																																											
新規 産業技術短期 大学校機能 充実事業	県	<p>産業技術短期大学校の各訓練科2年次の選択コースを平成29年度から設置するため、カリキュラムの作成及び機器整備を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース名</th> <th>カリキュラム概要</th> <th>整備機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I o Tコース (情報システム科内)</td> <td rowspan="2">I o Tやビッグデータ技術に関する活用実習等</td> <td>プログラムデータ測定器等</td> </tr> <tr> <td>ビッグデータコース (情報処理科内)</td> <td>ビッグデータ分析サーバ等</td> </tr> </tbody> </table>	コース名	カリキュラム概要	整備機器	I o Tコース (情報システム科内)	I o Tやビッグデータ技術に関する活用実習等	プログラムデータ測定器等	ビッグデータコース (情報処理科内)	ビッグデータ分析サーバ等	5,844 (一財 5,844)	5,633 (一財 5,633)																																																																																																						
		コース名	カリキュラム概要	整備機器																																																																																																														
		I o Tコース (情報システム科内)	I o Tやビッグデータ技術に関する活用実習等	プログラムデータ測定器等																																																																																																														
ビッグデータコース (情報処理科内)	ビッグデータ分析サーバ等																																																																																																																	
デュアル システム事業	国	<p>若年無業者、フリーター等の就職促進を図るため、専門学校等民間教育訓練機関での教育訓練と企業実習を組み合わせた職業訓練を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定員 (人)</th> <th>受講者 (人)</th> <th>修了者 (人)①</th> <th>修了就職者 (人)②</th> <th>中退就職者 (人)③</th> <th>就職率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>140</td> <td>90</td> <td>72</td> <td>49</td> <td>9</td> <td>71.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>訓練期間 3か月又は4か月 就職率は、国の算定基準による(②+③)/(①+③) <国委></p>	定員 (人)	受講者 (人)	修了者 (人)①	修了就職者 (人)②	中退就職者 (人)③	就職率 (%)	140	90	72	49	9	71.6	19,514 (国庫 19,441) (その他 73)	18,713 (国庫 18,640) (その他 73)																																																																																																		
		定員 (人)	受講者 (人)	修了者 (人)①	修了就職者 (人)②	中退就職者 (人)③	就職率 (%)																																																																																																											
140	90	72	49	9	71.6																																																																																																													

職業転換能力 開発事業	国 県	<p>離職者等の再就職に必要な知識、技能を習得させるため、5産業技術専門学院及び専門学校等民間教育訓練機関で職業訓練を実施</p> <table border="1" data-bbox="576 271 1150 562"> <thead> <tr> <th>訓練形態</th> <th>定員 (人)</th> <th>修了者 (人)</th> <th>左記のうち 訓練期間1か月以上 の修了者 (人)①</th> <th>訓練期間1か月以上 の就職者 (人)②</th> <th>中退就職者 (人)③</th> <th>就職率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設内</td> <td>50</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>22</td> <td>3</td> <td>89.3</td> </tr> <tr> <td>施設外 (委託)</td> <td>1,514</td> <td>1,100</td> <td>1,037</td> <td>698</td> <td>31</td> <td>68.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,564</td> <td>1,125</td> <td>1,062</td> <td>720</td> <td>34</td> <td>68.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>就職率は、国の算定基準による(②+③)÷(①+③) <国補(定)等></p>	訓練形態	定員 (人)	修了者 (人)	左記のうち 訓練期間1か月以上 の修了者 (人)①	訓練期間1か月以上 の就職者 (人)②	中退就職者 (人)③	就職率 (%)	施設内	50	25	25	22	3	89.3	施設外 (委託)	1,514	1,100	1,037	698	31	68.3	計	1,564	1,125	1,062	720	34	68.8	<p>346,446 (国庫 341,160) (その他 189) (一財 5,097)</p>	<p>296,789 (国庫 294,562) (その他 197) (一財 2,030)</p>
訓練形態	定員 (人)	修了者 (人)	左記のうち 訓練期間1か月以上 の修了者 (人)①	訓練期間1か月以上 の就職者 (人)②	中退就職者 (人)③	就職率 (%)																										
施設内	50	25	25	22	3	89.3																										
施設外 (委託)	1,514	1,100	1,037	698	31	68.3																										
計	1,564	1,125	1,062	720	34	68.8																										
知的障害者職業 能力開発事業	県	<p>知的障害者を対象に就労に必要な技能を習得するため、水戸産業技術専門学院の総合実務科において職業訓練を実施</p> <table border="1" data-bbox="576 763 1150 864"> <thead> <tr> <th>定員 (人)</th> <th>受講者 (人)</th> <th>修了者 (人)</th> <th>就職者 (人)</th> <th>就職率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>91.7</td> </tr> </tbody> </table> <p><国補(定)等></p>	定員 (人)	受講者 (人)	修了者 (人)	就職者 (人)	就職率 (%)	20	13	12	11	91.7	<p>20,262 (国庫 16,813) (その他 28) (一財 3,421)</p>	<p>19,552 (国庫 16,813) (その他 29) (一財 2,710)</p>																		
定員 (人)	受講者 (人)	修了者 (人)	就職者 (人)	就職率 (%)																												
20	13	12	11	91.7																												
障害者委託 訓練事業	国 県	<p>障害者を対象に就労に必要な知識・技能を習得するため、専門学校等民間教育訓練機関や企業に委託し、職業訓練を実施</p> <p>(1) 知識技能習得訓練コース</p> <table border="1" data-bbox="576 1066 1150 1167"> <thead> <tr> <th>定員 (人)</th> <th>受講者 (人)</th> <th>修了者 (人)</th> <th>就職者 (人)</th> <th>就職率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>44.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 実践能力習得訓練コース</p> <table border="1" data-bbox="576 1234 1150 1335"> <thead> <tr> <th>定員 (人)</th> <th>受講者 (人)</th> <th>修了者 (人)</th> <th>就職者 (人)</th> <th>就職率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>81.0</td> </tr> </tbody> </table> <p><国委等></p>	定員 (人)	受講者 (人)	修了者 (人)	就職者 (人)	就職率 (%)	15	12	9	4	44.4	定員 (人)	受講者 (人)	修了者 (人)	就職者 (人)	就職率 (%)	30	21	21	17	81.0	<p>14,132 (国庫 12,156) (その他 28) (一財 1,948)</p>	<p>11,936 (国庫 11,907) (その他 29) (一財 -)</p>								
定員 (人)	受講者 (人)	修了者 (人)	就職者 (人)	就職率 (%)																												
15	12	9	4	44.4																												
定員 (人)	受講者 (人)	修了者 (人)	就職者 (人)	就職率 (%)																												
30	21	21	17	81.0																												
在職者訓練事業	県	<p>中小企業在職者の技能向上を図るため、5産業技術専門学院で技能向上コース等の職業訓練を実施</p> <table border="1" data-bbox="576 1469 1150 1727"> <thead> <tr> <th>コース名</th> <th>コース数</th> <th>受講者 (人)</th> <th>修了者 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技能向上</td> <td>43</td> <td>661</td> <td>567</td> </tr> <tr> <td>I T</td> <td>20</td> <td>191</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>オーダーメイド</td> <td>29</td> <td>321</td> <td>296</td> </tr> <tr> <td>技能ブラッシュアップ</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>93</td> <td>1,181</td> <td>1,034</td> </tr> </tbody> </table> <p><国補(定)></p>	コース名	コース数	受講者 (人)	修了者 (人)	技能向上	43	661	567	I T	20	191	164	オーダーメイド	29	321	296	技能ブラッシュアップ	1	8	7	計	93	1,181	1,034	<p>34,242 (国庫 18,079) (その他 3,704) (一財 12,459)</p>	<p>33,352 (国庫 18,079) (その他 3,731) (一財 11,542)</p>				
コース名	コース数	受講者 (人)	修了者 (人)																													
技能向上	43	661	567																													
I T	20	191	164																													
オーダーメイド	29	321	296																													
技能ブラッシュアップ	1	8	7																													
計	93	1,181	1,034																													
いばらき 名匠塾事業	県	<p>熟練技能者の定年退職、後継者不足等の問題に対応するため、ベテラン技能者から中堅青年の技能者に対して、高度で専門的な技術や技能を継承するための訓練を実施</p> <p>(1) 実施コース 旋盤、建築大工等 6コース (2) 受講者 22人 <国補(定)></p>	<p>2,065 (国庫 1,876) (その他 65) (一財 124)</p>	<p>2,046 (国庫 1,876) (その他 66) (一財 104)</p>																												

認定訓練校 育成事業	事業主等	認定職業訓練の円滑な実施を支援するため、運営費の一部を補助 補助団体 14件（15職業訓練施設） <（国1／2 県1／2）>	46,362 （国庫 23,180） （一財 23,182）	44,921 （国庫 23,867） （一財 21,054）
ものづくり 振興・人材育成 事業	県	1 ものづくりマイスターの認定 23職種・37人（延べ63職種・810人） 2 ものづくりマイスターの活用 マイスターを講習会等の講師として活用 （1）学校等での講師 延べ34人 （2）イベント等での体験教室の講師 延べ4人 3 ジュニア技能インターンシップ事業 若年者の職業意識をかん養するため、高校生 を対象とした就業体験を実施 受講者 145人（19校）	3,675 （一財 3,675）	3,260 （一財 3,260）
計			689,358	627,716

③ 事業の成果及び今後の課題

新規学卒者及び離職者等に対する職業訓練や障害者に対する企業実習訓練等により、就職の促進を図った。新規学卒者訓練における就職率は、産業技術短期大学校、産業技術専門学院ともに100%を達成した。なお、産業技術短期大学校では、急速な技術革新に対応した新たな訓練コースの開設に向け、企業で求められる知識・技術を学ぶ実践的なカリキュラムの作成や機器整備を実施した。

また、在職者を対象とした職業訓練の実施や認定訓練校への運営費の補助等を行い、中小企業における技能の向上及び技能の伝承並びに職業能力開発への支援を行った。

今後の課題としては、労働力不足が進む中、ものづくり分野の中小企業の活力維持・発展のため、社会変化等を踏まえた訓練等の充実を図り、人材の育成・確保、技能の維持・継承等を推進していく必要がある。